

令和元年12月11日
水産庁

冷凍水産物需給情報

以下の表は、さけ・ます類、えび類、いか類、さば類、さんまについて、令和元年度第3回冷凍水産物需給情報検討会(令和元年11月25日)での協議を踏まえ、最近までの需給動向、今後の冷凍水産物の需給見通し(令和元年10月～12月の供給量、卸売価格)を取りまとめたものです(※1)。

	元年7月～9月の動向			元年10月～12月の 需給見通し(※4)
	生産量 (水産庁調べ(※2))	輸入量 (貿易統計(※3))	卸売(東京)価格 (今四半期平均価格(冷凍に限る。))	
さけ・ます類	34,363t	26,244t	930円/kg	供給量(生産量+輸入量)
	前年比 93 % 平年比 63 % 前期比 413 %	前年比 84 % 平年比 69 % 前期比 108 %	前年比 90 % 平年比 103 % 前期比 90 %	前年比: かなり減少 平年比: かなり減少 卸売(東京)価格 前年比: 弱含み 平年比: やや弱含み 前期比: やや弱含み
えび類	(※5)	41,645t	1,388円/kg	供給量(輸入量)
		前年比 102 % 平年比 95 % 前期比 138 %	前年比 93 % 平年比 84 % 前期比 100 %	前年比: やや減少 平年比: 減少 卸売(東京)価格 前年比: やや弱含み 平年比: 弱含み 前期比: 横ばい
いか類	36,224t	26,691t	1,095円/kg	供給量(生産量+輸入量)
	前年比 94 % 平年比 65 % 前期比 1383 %	前年比 100 % 平年比 92 % 前期比 107 %	前年比 99 % 平年比 122 % 前期比 102 %	前年比: 減少 平年比: かなり減少 卸売(東京)価格 前年比: かなり強含み 平年比: かなり強含み 前期比: かなり強含み
さば類	26,095t	6,339t	491円/kg	供給量(生産量+輸入量) ※餌料用向けを含む供給量
	前年比 47 % 平年比 47 % 前期比 29 %	前年比 72 % 平年比 121 % 前期比 61 %	前年比 85 % 平年比 90 % 前期比 81 %	前年比: かなり減少 平年比: かなり減少 卸売(東京)価格 前年比: 強含み 平年比: 強含み 前期比: やや強含み

	元年7月～9月の動向			元年10月～12月の 需給見通し(※4)
	生産量 (水産庁調べ(※2))	輸入量 (貿易統計(※3))	卸売(東京)価格 (今四半期平均価格(冷凍に限る。))	
さんま	4,852t	1,415t	760円/kg	供給量(生産量+輸入量)
	前年比 12 %	前年比 213 %	前年比 96 %	前年比: 大幅に減少
	平年比 12 %	平年比 151 %	平年比 149 %	平年比: 大幅に減少
	前期比 2308 %	前期比 1569 %	前期比 125 %	
				卸売(東京)価格
				前年比: かなり強含み
				平年比: かなり強含み
				前期比: かなり強含み

※1. 需給見通しの表のうち「前年比」とは平成30年10～12月と対比した傾向を表し、「平年比」とは平成26～30年の10～12月の5年平均と対比した傾向を表し、「前期比」とは令和元年7～9月と対比した傾向を表す。

※2. 「生産量」の欄の「水産庁調べ」とは、さけ・ます類については(一社)漁業情報サービスセンター(JAFIC)調べ(月別・主要漁港ベース)、その他の魚種については水産庁の「産地水産物流通調査」(月別・主要漁港ベース)の値を農林水産省の「漁業・養殖業生産統計」(年間・全国ベース)の値により補正した前年当該四半期の値に、JAFIC調べ及び「産地水産物流通調査」におけるそれぞれの今四半期の前年比を乗じて推定した値である。

※3. 「輸入量」の欄の「貿易統計」とは財務省関税局「貿易統計」である。

※4. 需給見通しの評価基準は以下のとおりである。

	供給量	卸売価格
0～ 2%	並み 、 横ばい	横ばい
3～10	やや増加(減少)	やや強(弱)含み
11～20	増加(減少)	強(弱)含み
21～50	かなり増加(減少)	かなり強(弱)含み
51～	大幅に増加(減少)	〃

※なお、「供給量」については、いずれの魚種も主な漁期が限られ、四半期毎に変動があることは自明であるため、「前期比」の見通しは省略している。

※5. えび類の生産量については、国内生産がわずかなため省略している。

問合せ先: 水産庁加工流通課企画調査班 北川、大和田
 代表: 03-3502-8111
 内線6617
 ダイヤルイン: 03-3591-5612